

委員会海外調査実施計画書

令和8年6月8日

神奈川県議会議長 殿

委員会名 建設・企業常任委員会  
 委員長名 楠 梨恵子

海外調査を次のとおり計画しましたので、調査を実施いたしたく、よろしくお願いいたします。

1 調査期間	令和8年8月18日(火)～8月21日(金) (4日間)
2 調査先(国・機関名等)	マレーシア ・同国政府関係機関及び日本政府組織等(都市計画、道路、河川その他土木及び水道事業に関する事項について)
3 調査目的	<p><b>【都市計画に関する事項について】</b>                      本県では、「かながわ都市マスタープラン」を策定し、都市環境と自然環境の調和、人、モノ、情報のネットワークの充実などを図ることを目指し、魅力的な県土づくりに取り組んでいる。                      マレーシアでは、スマートシティ政策を掲げ、首都クアラルンプールやプトラジャヤを中心に、IoTを通じた交通管理の効率化、行政サービスのデジタル化、環境負荷軽減などの取り組みを進めている。                      そこで、同国を訪ね、スマートシティの取組を調査することにより、本県の委員会審査に資するものとする。</p> <p><b>【道路、河川その他土木に関する事項について】</b>                      本県では、気候変動により激甚化・頻発化する水害リスクの増大に対応するため、国、県、市町村等の流域関係者全体で治水に取り組む流域治水を計画的に推進している。                      マレーシアは熱帯雨林気候に属し、年間降水量が非常に多いことから、洪水対策が喫緊の課題であり、首都クアラルンプールでは、水位のリアルタイム監視、排水インフラ強化、大規模防災施設の活用により、洪水リスクを最小限に抑える体制を整えている。                      そこで、同国を訪ね、治水の取組を調査することにより、本県の委員会審査に資するものとする。</p> <p><b>【水道事業に関する事項について】</b>                      本県では、水資源の安定供給、洪水被害の低減及び発電を目的とし、ダム事業に取り組んでいる。                      マレーシアは、熱帯雨林気候に属し、降雨に恵まれているものの、クアラルンプールを中心とした首都圏では人口が増加し続け、今後も水需要の大幅な増加が想定されるため、ダム、導水路トンネルの建設など水資源の安定供給に向けた事業を進めている。                      そこで、同国を訪ね、水資源の安定供給の取組を調査することにより、本県の委員会審査に資するものとする。</p>
4 調査項目	1 都市計画に関する事項について 2 道路、河川その他土木に関する事項について 3 水道事業に関する事項について
5 参加予定人数	正副委員長・委員 11名
6 経費の概算額	旅費 3,751,000円
	その他経費 2,181,000円